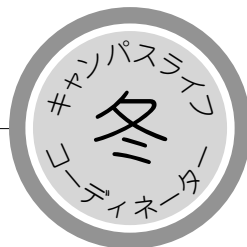


学生部 だより

2011



スポーツ施設貸出について (多摩キャンパス)

12月～3月の貸出日について

- ☆12月1日(木)～12月22日(木) 1時限～6時限※屋外は4時限まで
- ※12月23日(金)～3月20日(火)までは貸出を行いません。

春季休業中の貸出日について

- ☆3月21日(水)～3月31日(土) 1時限～4時限のみ
- ※上記日程の受付は、一週間前より学生課にて先着順で行います。
- ※春季休業中の土曜・日曜・祝日は貸出を行いません。
- ※3月17日(土)～4月4日(水)〈:予定〉の期間は卒業式・入学式準備等のため、G2アリーナの貸出を行いません。
- ※4月以降の予定については、決定次第学生課の窓口等に掲示します。

ゼミ合宿等に
最適!

春季契約宿舎宿泊受付のご案内

中央大学には、2つのセミナーハウス(大学寮)があり、授業・研究や課外活動の利用に供していますが、春季・夏季は、ゼミやサークル等の合宿が多いため、大学が利用契約を結んだ民間のホテル等を割安料金で利用できるようにしています。是非ご利用ください。

中央大学の学生として責任ある行動を心がけ、マナーを守って想い出深い合宿にしましょう。

《申込方法》

- ① **11月24日～12月7日**まで学生課にて申込書を配付します。
 (1)利用日程 (2)人数 (3)会議室利用の有無等を第9希望まで記入していただきます。
 抽選を行うための大切な申込書となりますので、できるだけ多くの欄に記入してください。
- ② **12月7日17:00**までに学生課窓口時間に受付BOXへ申込書を投函してください。
 8日9:20から、7104号室にて、公開抽選を行います。
 組んでいく順番決定のための抽選となりますので、宿泊先等の詳細は20日の発表までお待ちください。
◆【8日は参加必須ではありません】
- ③ **12月20日昼休み**抽選結果を9号館で発表し、当選団体には手続書類の配付と説明を行います。
 ※ホテル備品・施設等の詳細なお問い合わせ(要望事項等)は、関係者に直接質問できるこの場でお寄せください。
- ④ 当選した団体の手続書類提出は、**1月16・17日**に学生課にて受付ます。

春季契約宿舎 宿泊受付予定施設は、こちらの9つです♪

- ①華やぎの章 慶山(石和)
- ②石和びゅーほてる(石和)
- ③ホテル花いさわ(石和)
- ④箱根高原ホテル(箱根)
- ⑤ホテルサンシャイン鬼怒川(日光)
- ⑥湯沢ニューオータニホテル(越後湯沢)
- ⑦ニュー・グリーンピア津南(新潟・津南)
- ⑧ホテルヴィレッジ(草津)
- ⑨新宿ニューシティホテル(新宿)

★ 利用料金 ★

3,500円 (1泊2食付 消費税等込) ※新宿ニューシティホテルは1泊1食(朝食のみ) いずれの日も昼食は別料金です。

★ 開設期間 ★

2～3月の春休み期間

詳細は、学生課掲示板等でご確認ください。

セミナーハウス(大学寮)ご利用の場合は、通常どおり学生課窓口時間にていつでも受付しています！ 利用料金は、契約宿舎より更に割安の(1泊3食付2,000～2,500円)です！

中央大学学生課 042-674-3471

学生部の窓口時間のお知らせ

多摩キャンパス

期 間	窓 口 時 間
学 生 課	厚 生 課
～12月24日(土)	月～金 9:00～17:00 土 9:00～12:00 ※12/23(金)は閉室します。
1月6日(金)～2月2日(木)	月～金 9:00～17:00 土 9:00～12:00 ※1/9(月)は閉室します。
2月3日(金)～3月31日(土)	月～金 9:00～12:00 13:00～17:00 土 9:00～12:00 ※入試実施に伴う閉室については、確定次第お知らせ します。窓口掲示やホームページをご確認ください。 ※3月20日(火)は閉室します。
学 生 相 談 室	
～12月24日(土)	月～金 10:00～18:00 (月曜日17:00迄) 土 10:00～12:00
1月5日(木)～1月17日(火)	月～金 10:00～18:00 (月曜日17:00迄) 土 10:00～12:00
1月18日(水)～3月31日(土)	月～金 9:00～17:00 土 9:00～12:00

後楽園キャンパス

理工学部学生生活課	
～12月22日(木)	月～金 10:00～18:00 土 10:00～12:00
1月6日(金)～1月16日(月)	月～金 10:00～18:00 土 10:00～12:00
12月24日(土), 1月17日(火)～3月31日(土)	月～金 10:00～17:00 土 9:00～12:00
理工学部学生相談室	
～12月22日(木)	月～金 10:00～17:00 土 10:00～12:00
1月6日(金)～3月31日(土)	月～金 10:00～17:00 土 10:00～12:00

※窓口時間を変更する場合には、事前に各課窓口やホームページでお知らせします。

みなさんの声をお聞かせ下さい!

学生部は、大学と学部学生の皆さんとのパイプ役を果たしていますが、その一環として一人ひとりの意見、考えそして提案を広く聞き、充実した大学を創るために学部学生を対象とした「オピニオン・カード」を受け付けています。ぜひ、活用してください。

投書方法

①中央大学ホームページのオピニオンカードメールフォームによる投書
メニュー⇒「学生生活・就職」⇒「学生生活サポート」⇒「オピニオンカード」

②Eメールによる投書

下記のアドレスに意見・提案を送信してください。その際、次の事項を必ず記入してください。

1. 意見・提案
2. 氏名
3. 学籍番号
4. 回答希望の有無(回答を希望する場合は、連絡先を記入してください)



③専用用紙による投書

オピニオン・ボックスに添付してある専用用紙に意見・提案を記入し、投函してください。

<オピニオン・ボックス設置場所>

多摩キャンパス：学生課・各学部事務室・学友会事務室

後楽園キャンパス：理工学部事務室・理工学部学生生活課



Eメールでの受付

opinioncard@tamajs.chuo-u.ac.jp

災害救援ボランティア講座 —参加者の声—

中央大学学生部

学生部では、前期試験が終了した直後の2011年8月1日(月)、2日(火)、3日(水)の3日間『災害救援ボランティア講座』を実施し、26名の学生が参加しました。この講座は「災害時、わが身と家族の命を守る」ため、実践的な防災の基礎知識と応急手当を学び、ひいてはボランティア活動の活性化に繋げることを目的とし、3日間、応急手当活動(東京消防庁による上級救命講習)、災害模擬体験と実技(消火訓練・地震体験・煙体験)、災害・防災について(講義・グループワーク等)の講座に熱心に取り組み、修了者には、災害救援ボランティア推進委員会より「セーフティリーダー認定証」が、東京消防庁より「上級救命技能認定証」が、それぞれ交付されました。

講座を修了した参加者の声をご紹介します。

頭の片隅にとどめておいて使うべきときに使えるようにしていきたいです。またそれだけでなく日頃から備えられるものは備えておく、防災意識を高めるなど日常でも忘れないようにしていきたいです。
(文学部・女性)

身に付けた救命技能を家族や友人に教えてあげたいと思いました。これから3.11以上に被害の大きい災害が起きると思うので、自分の命を自分で守れるようにすることは重要であることを再確認できました。色々なボランティアを経験した人の体験談をもっと聞きたいと思いました。
(文学部・女性)

本講座を受講して、災害に対する意識を以前より強くもてるようになった気がします。

地震や災害が起きたとき、自分はいかに行動することができるか、またいかに行動すべきかについて、しっかり学べたと思います。災害の多い日本に住んでいることをきちんと自覚し、自然には逆らえないことを理解した上で、日頃から災害に備えた行動をしたいと思いました。

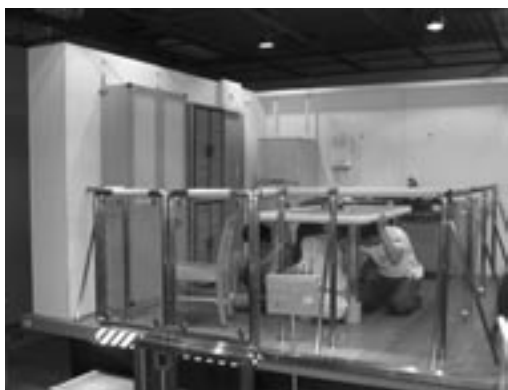
(法学部・男性)

3.11の日から日本人の災害に対する意識は大きく変化しました。私たちの世代は、阪神・淡路大震災と今回の震災の2つを経験しています。私は、地震や災害が起きた時、机の下に隠れることしかできずにいました。しかし、今回の講座で得た知識や経験を用いて、今後は自分の身を守るだけでなく、人も助けることのできる人間でありたいと思います。ピンチはチャンス、今の日本のピンチは我々世代にとってのチャンスにしていかなければならないと思いました。

(経済学部・男性)

重傷者が出たときなど一刻を争う状況で、迷わずスムーズに心肺蘇生を行ったり、AEDを使用したりできるのはとても大きなことだと思います。こういった技能は簡単に身に付けられることができますが、より多くの人が修得すれば災害時の対応は大きく変わります。この講座では、災害時に自分ができる対処法はいろいろあるということを学べ、とても有意義でした。

(総合政策学部・女性)



震度7の揺れを体感

東日本大震災の直後、地元で街頭募金活動を行いました。そこで人の心の温かさを感じたとともに、自分が積極的に行動することで一人でも多くの方の役に立ちたいと思いました。この経験から今回の講座を受講して、更に高い知識を付けたいと思いました。災害時の迅速な対応や2次災害の危険性について詳しく知ることができました。上級救命技能講習の際にも早急な対応がいかに重要かということを変更して学ぶことができました。災害や人名救命はいつ、どんなときに起こるか全く予測がつきません。どんなときでも冷静な判断と迅速な対応に心がけたいと思います。そのために、常に意識を持って行動したいです。 **（理工学部・男性）**



ハイパーレスキュー隊の訓練場を見学

自分の目の前で急病人が出たり、家族や友人が苦しんでいたら、今回身に付けた知識を活かして力になりたいと強く思いました。特に応急手当は正しい知識を持ち、行動できなければ救命に力になるかもしれないという、非常に有意義な講座だったと思います。逆に災害救援に関する講義では、経験や写真の解説が多く感じられ、あまり実用的でないように思いました。確かに、過去の災害から学ぶことは多々あると思いますが、写真を見て「この時はこうだったんですよ」というような経験談をお話し頂くより、「こういう場合はこういう手がある」「ボランティアはこのような活動ができる」「過去の反省点からこのような対策がある」といった、今後活動する時に使えるような知識・経験をもっと聞きたかったです。3日間災害について深く、集中して考えることができました。自分1人の知識・技能として留めることなく、家族や友人にも伝え、1人でも多く災害についての知識を高めてもらいたいと思います。 **（文学部・女性）**

応急手当活動や災害時の対応について学び、いかに普段からそのような状況を想定し、対策を講じておくことが大切かを知ることができました。今後も継続して緊急時に対する意識を高めていきたいと思います。

（商学部・男性）



消火活動訓練を体験

上級救命講習に参加して

理工学部1年 大橋 くるみ

私は8月3日に開催された「上級救命講習」に参加した。何故この講習に参加することにしたかということ、事故や震災などがいつ起こるか分からない日常生活の中で、少しでも人の役に立つことが出来るようになったらいいなと思ったからである。

この講習は東京救急協会応急手当教育指導員の方に指導していただいた。講習で指導していただいた内容は、心肺蘇生（胸骨圧迫、人工呼吸）、AED（自動体外式除細動器）の使用方法、応急手当の方法である。テキストに沿って丁寧に指導していただき、様々な場面を想定した救命措置

の演習を成人の模型を用いて行った。胸骨圧迫はただ圧迫すべき位置を圧迫するだけのこのようだが、実際に演習を行ってみると、とても体力を必要とするものだった。テキストに沿



った説明だけでは分からないことも、実際にやってみることで理解することができた。また、三角巾を用いて、火傷や骨折、捻挫といった外傷に対する応急手当の仕方も指導していただいた。体の部位によって三角巾の使い方が異なり少し難し

く感じたが、三角巾は体のどの部分にも使用することができ、非常に便利なものと思った。

もし傷病者を救わなくてはならない場面に遭遇した時、恐怖感などから救命措置を行うのをためらってしまうかもしれない。しかし、指導員の方もおっしゃっていたが、人の命を救うには勇気が必要である。今回の講習で、知識と技術を得ただけではなく、人の命を救うことの大事さを学ぶことができたと思う。学んだことを忘れずに、今後の生活で十分に活かしていきたい。



中央大学 アートフェスティバル(CAF) 受賞作品一覧

賞	氏名	学部	学年	作品名	分野
学長賞	固山 早織	文学部	4年	血潮	写真
特別賞	片原 梢	法学部	4年	門 II	絵画
特別賞	鈴川 祐基	法学部	4年	一瞬	書
特別賞	内海 利香	法学部	3年	氷裂文輪花皿	陶器
特別賞	鈴木 俊太郎	法学部	2年	春日大風感懐	書
特別賞	持田 大輝	法学部	1年	大楽	書

【学長賞】 血潮

【特別賞】 門 II

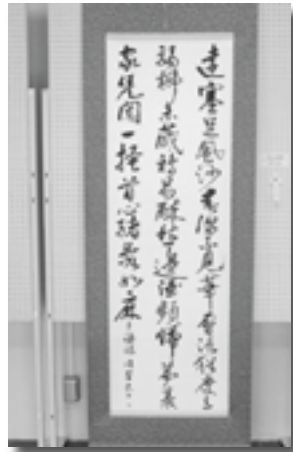
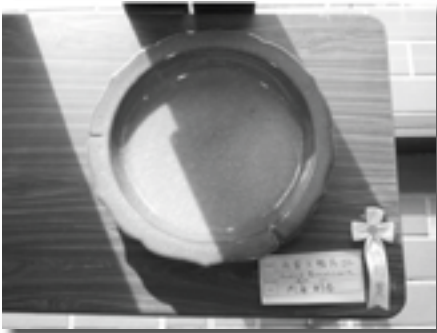
【特別賞】 一瞬



【特別賞】 氷裂文輪花皿

【特別賞】 春日大風感懐

【特別賞】 大楽



※上記受賞者には、後日表彰式にて、表彰状および賞金が贈られました。

※ご出展頂いた作品は(上記受賞作品を含む)、11/7~15まで図書館1Fに展示され、ご覧になった方々よりコメントも多数頂くなど、本年度も大変好評でした。